

# 下延生農学校

— 豊田林平がまいた農業教育の種 —



総合情報館では「下延生農学校—豊田林平がまいた農業教育の種—と題し、企画展を開催します。私立下延生農学校に関する歴史資料を展示し、農業教育に尽力してきた芳賀町の先人たちの功績を取り上げます。

今回の特集では、その内容の一部をご紹介します。

総合情報館 ☎028(677)2525



期間 5月3日(金) ~ 6月30日(日)

会場 芳賀町総合情報館 展示室2

観覧時間 9:30~17:00 (土日祝日は9:00から)

※休館日についてはP16をご覧ください。



豊田 林平 (情報館蔵)

現在の宇都宮市に生まれ、獣医として活躍しますが、後に医師を志すようになります。その後、母の実家である下延生の豊田家に養子に入り、明治24年に医院を開業します。芳賀町域では初めての洋方医でした。

## 私立下延生農学校とは

私立下延生農学校は、明治時代に下延生の開業医である豊田林平が私財を投じて作った学校です。

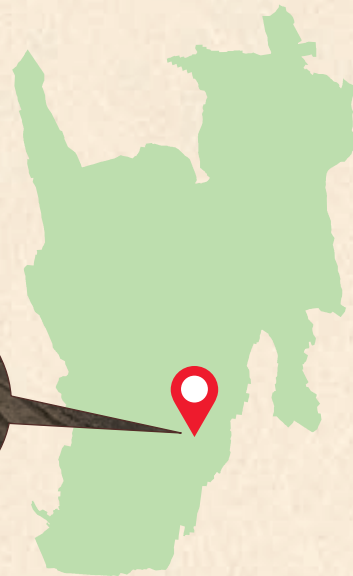
豊田林平は、地方の人々の貧しい生活を改善するためには農業教育が必要だと考え、自宅の敷地に自費で校舎を建て明治38年に私立下延生農業補習学校を設立しました。明治40年には、実業学校としてより高度な教育を提供する私立下延生農学校に転換させました。

私立下延生農学校は、後に上野原に移転し、上野原農学校と改称します。昭和8年には、県当局の方針により全寮制の上野原農学寮に、昭和13年には、清原村に移転して栃木県立清原農学寮となりました。

その後もさまざまな変遷を経て、現在は栃木県農業大学校となっています。



下延生農学校の跡地には、道路沿いに表示がされています。



私立下延生農学校では、当時はまだ珍しかったトマトの栽培や合理的な施肥などの実習を行っていました。また、校舎には理科特別教室や肥料分析室があり、最先端の技術を勉強する設備が整っていました。



## 豊田林平を取り巻く人々



阿久津 環之丞 (個人蔵)

与能村出身で、東京帝国大学農科大学実科(現東京農工大学)を卒業した後、帰郷中に豊田林平と出会い、私立下延生農業補習学校ができる校長兼教員となります。その後、私立下延生農学校・私立上野原農学校と校名が変わっても、無報酬で校長を務め、上野原に学校が移転したときには私財を投じて移転に尽力しました。



福田 豊吉 (情報館蔵)

日光出身で、明治の洋画家福田たねの父として知られています。教師の試験に合格した後、豊田林平の故郷である現在の宇都宮市の小学校に赴任します。教師として働く傍ら、地元青年を対象とした「三余学会」という夜学会を主宰し、この三余学会に豊田林平も参加していました。下延生農業補習学校を設立したときに教員兼幹事となりました。

## 現代に残る下延生農学校の跡

栃木県農業大学校の石碑



中央の石碑が大正10年に建てられた豊田林平の功績を称える「頌徳之碑」、左側が昭和12年に建てられた「阿久津環之丞君謝恩ノ碑」です。

上野原農学校跡



上野原農学校があった場所は、現在上の原緑地公園となっています。

企画展では、栃木県の農業の発展を支えた下延生農学校と豊田林平に関するさまざまな資料を展示しています。また、企画展関連講座も開催しますので、申し込みの上、ぜひお越しください。

### 【企画展関連講座】

日時/6月8日(土) 14:00~16:00  
 題目/「理想の人 豊田林平と下延生農学校」  
 講師/鈴木健一氏(元栃木県立文書館長)  
 会場/芳賀町総合情報館 多目的室  
 定員/30人(要申込) 総合情報館 ☎028(677)2525